

**NOTEBOOK PC**

**ドライバー & ユーティリティ**

**インストール & ユーザーガイド**  
**(WINDOWS 98)**

## ユーザーへの注意(サポートCD)

このマニュアルに書かれている製品名および社名は、それぞれの会社の登録商標もしくは著作権です。製品・社名を識別するために使用するもので、権利を侵害するものではありません。

- Windows、MS-DOSは、Microsoft社の登録商標です。
- Adobe、Acrobatは、Adobe Systems社の登録商標です。
- ALPSは、Alps Electric Co., Ltd.の登録商標です。
- GlidePointは、Cirque社の登録商標です。
- IBM、IBM PCは、International Business Machine社の登録商標です。
- Microsoft Windowsは、Microsoft社の登録商標です。

製品名 :	<b>Support CD</b>
マニュアルリビジョン :	<b>1.00 J314</b>
リリース日付 :	<b>1999年4月</b>

## 目次

ユーザーへの注意(サポートCD) .....	2
新しいハードディスクの使用 .....	4
BIOSの書き換え .....	6
新しいオペレーティングシステム .....	7
Microsoft Windows 98.....	7
Windows 98用サポートCD .....	8
YAMAHA オーディオ .....	9
YAMAHAソフトウェア(オプション) .....	11
VGAドライバー .....	13
ディスプレイの設定 .....	15
コントロールパネル .....	17
Lynx ディスプレイ プロパティ .....	18
タッチパッド .....	19
Fast IRドライバー .....	21
PC-cillin .....	23
他のサポートCDオプション .....	24
<b>Alpsマウスユーティリティ .....</b>	<b>25</b>

## 新しいハードディスクの使用

新しいハードディスクを購入したら、販売店が環境設定を行っていない限り、領域が設定されていません。ハードディスクがデータ保存するには領域設定が必要です。Windowsを起動するには、アクティブな領域は2GB以下でなくてはなりません。そこで、3GBの標準ハードディスクの場合には少くとも2つの領域に分割します。2つの領域に分割されている場合、ドライブ名は「C:¥>」と「D:¥>」となります。Suspend-to-Disk(ディスクへのサスペンド)領域には、ユーザーはアクセスできないため、ドライブ名はありません。もし、領域をさらに分割したり、組み込み式CD-ROMドライブを装着した場合には、ドライブ名が増えます。

**注：**領域が設定されていない場合にはフォーマットできませんし、フォーマットされたハードディスクの領域を自由に取り除くことはできません。

### 起動ディスクの作成

使用するハードディスクドライブにアクティブ領域がない場合には、コマンドプロンプトに入るために起動ディスクが必要です。起動ディスクを作成するには、DOSプロンプトで「FORMAT A:/S」コマンドを実行するか、システムファイルを転送する指定をした上でWindows上でフォーマットを実行します(たとえばマイコンピュータから)。Windows 95/98の「C:¥WINDOWS¥COMMAND」ディレクトリから、FDISK.EXEや他のDOSユーティリティをコピーしてください。AUTOEXEC.BATかCONFIG.SYSが起動ディスク上にある場合には、ユーティリティが使用できなくなるおそれがあるので、削除してください。

### Suspend-to-Disk(ディスクへのサスペンド)領域の作成

Suspend-to-Diskユーティリティを使う予定がある場合には、Suspend-to-Disk領域が必要です。Suspend-to-Disk領域は、他の領域を使用する前に作成してください。そうしないとその領域が削除されるおそれがあります。将来、Suspend-to-Disk領域を使用しなくなれば、FDISK.EXEを使い、他の領域に影響を及ぼすことなく削除することができます。Suspend-to-Disk領域は、この機能のためだけに使用されます。Suspend-to-Disk機能を使用するには、BIOSセットアップでPower Managementモードを設定してください。

1. 「PHDISK.EXE」ユーティリティを含んだシステムディスクから起動します。
2. 「PHDISK/CREATE 165000」と入力し、エンターキーを押します。

## 新しいハードディスクの使用(続き)

「165000」オプションでは、PHDISK.EXEにより165,000のバイトの領域を作成します。165 MBが必要なのは、Notebook PCの最大メモリーサイズが160MBだからです。165 MBのSuspend-to-Disk領域を指定しておく、将来メモリーを最大容量まで増設しても、すべてディスクにサスペンドさせることができます。「165000」と指定しないなら、PHDISK.EXEは、搭載されているメモリーより少し大きなサイズの領域を作成します。この場合、すでに最大容量のメモリーを搭載している場合でない限り、Suspend-to-Disk領域を再作成しないと、メモリーのアップデートができなくなることとなります。このとき、PHDISK.EXEユーティリティが、使用している他の領域を削除してしまうかもしれません。

### FDISK.EXEユーティリティの使用

FDISK.EXEユーティリティは、ハードディスク上に領域を作成したり、削除したりします。このユーティリティが必要となるのは、新しいハードディスクでフォーマットされていない場合です(ハードディスクをフォーマットすると、少なくともひとつの領域が作成されます)。ハードディスクドライブをフォーマットした後は、このユーティリティを使う必要はありません。データがあり使用している領域を削除すると、回復できないので注意が必要です。

1. 「FDISK.EXE」ユーティリティを格納した起動ディスクセットから起動します。
2. A:¥>で「FDISK」と入力し、エンターキーを押します。
3. 画面の指示にしたがい、基本領域を作成し、アクティブになるように設定してください。さらに、必要なら拡張領域を作成してください。

### ハードディスクドライブのフォーマット

ハードディスクのフォーマットは、ひとつの領域上にあるすべてのデータを消去します。他の領域の上でデータを消去したい場合には、フォーマットユーティリティを使用する際に、ドライブ名を指定してください。/Sコマンドは、起動できるシステムファイルを配置します。「FORMAT /?»と入力すると他のオプションが表示されます。

1. 「FORMAT.COM」ユーティリティを格納した起動ディスクセットから起動します。
2. A:¥>で「FORMAT C:/S」と入力し、エンターキーを押します。
3. フォーマット確認では「Y」を入力し、エンターキーを押してください。
4. ボリュームラベルを入力するか、入力したい場合にはそのままエンターキーを押してください。

## BIOSの書き換え

BIOSは、Notebook PCのハードウェア情報を保存しています。新機能をサポートしたり、バグをとったりするためBIOSの新しいバージョンがリリースされます。最新バージョンのBIOSには、それ以前のBIOSでフィックスされたすべてのバグフィックスを含んでいます。各BIOSイメージファイルは、各固有の製品用にカスタマイズされています。使用するNotebook PC用ではないBIOSを使用しないでください。間違ったBIOSを搭載すると、システムが起動しなくなり、メーカーでの修理が必要となります。Notebook PC's BIOSをアップデートする(書き換える)には「PHLASH.EXE」ユーティリティを使用します。注：BIOSアップデートを行うとBIOS環境構成で行ったユーザーの設定変更は消失します。本ユーティリティを使用する前に、あなたが設定したBIOS設定を書き留めておいてください。

1. 「PHLASH」ユーティリティ、PLATFORM.BIN、BIOSイメージ(例: Is-0103a)ファイルを格納した起動ディスクから起動してください。(インターネットからファイルをダウンロードした場合には、UNZIPで解凍しなければならない場合があります。)
2. 「plash/mode=3 Is-0103a」(新BIOSイメージファイル名を使ってください)と入力し、エンターキーを押します。
3. PHLASHユーティリティが自動的にBIOSをアップデートします。BIOSアップデートが成功したら、何かキーを押してシステムを再起動するよう求められます。システムが再起動しない場合には、Notebook PCの電源を切り、再度電源オンしてください。
4. BIOSアップデートが成功したら、起動時に「F2」キーを押し、BIOSセットアップに入ってください。「Load Setup Defaults」を選択し、エンターキーを押し初期値を読み込みます。必要なら、設定を行うために他のメニューに戻ってください(BIOSアップデートを行うと以前の設定が消失するからです)。「Exit Saving Changes」を選択し、BIOSセットアップを終了してください。Notebook PCの再起動後に画面解像度を変更した場合には、画面のプロパティで、画面領域を1024x768ピクセル、16ビットカラーに変更してください。

# 新しいオペレーティングシステム

## MS-DOS上でのCD-ROMサポート

空のハードディスクドライブにオペレーティングシステムをインストールするには、DOSリアルモードCD-ROMドライバーを、CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATで読み込み、CD-ROMドライブを使用可能にする必要があります。フロッピーディスクドライブは、デバイスドライバーなしで使用できます。PCMCIAはDOS上での使用は推奨しません。しかし、必要ならPCMCIAカードの付属文書を参照するか、カードのメーカーやショップに相談してください。CD-ROMデバイスドライバーが、工場出荷時には一般的に、次のように構成されています(ハードウェア・ソフトウェアは絶えず改善され、特定市場向けにカスタマイズされるので、以下の記述は実際にお使いのNotebook PCとは異なる場合もあります)。

**CONFIG.SYS:**            DEVICE = C:¥CDROMDRV.SYS ¥D:0EMCD001

**AUTOEXEC.BAT:**        MSCDEX.EXE ¥D:0EMCD001 ¥L:D

## Microsoft Windows 98

Microsoft Windows 98は、普通、お買い上げのNotebook PCにプリインストールされています。インストールや構成変更が必要なら、Windows 98の付属文書を参照してください。Windows 98が起動すれば、DOSリアルモードCD-ROMドライバーの代わりに、Windows 98のCD-ROMデバイスドライバーを使用する必要があります。DOSドライバーは、性能的にも劣り、メモリー管理が原因で他の機器とコンフリクトする可能性があります。

## DOSリアルモードCD-ROMドライバーの削除

DOSリアルモードドライバーを組み込んでいる行をremで無効にするか、削除すれば、Windows 98のCD-ROMデバイスドライバーが使用されます。Windows 98には、DOS CD-ROMドライバーを、remをつけることで無効にする機能があります。:

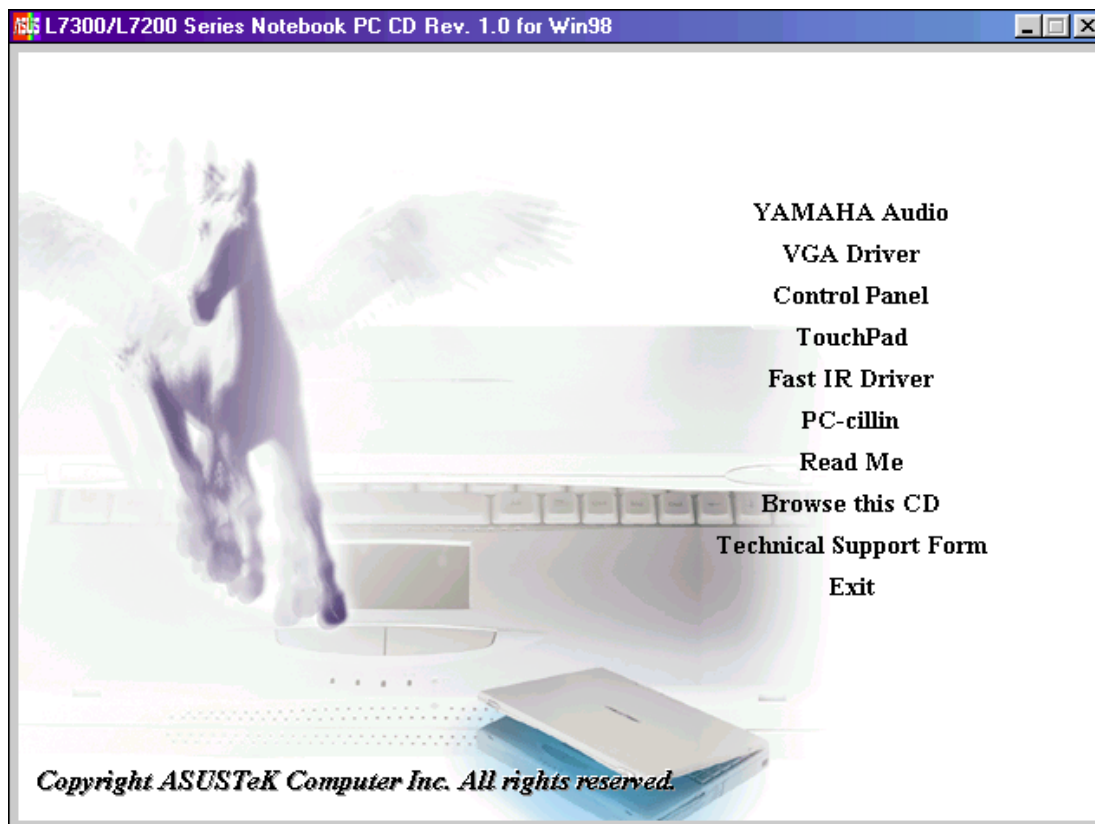
**CONFIG.SYS:**        rem - By Windows Setup - DEVICE = C:¥CDROMDRV.SYS /D:0EMCD001

**AUTOEXEC.BAT:**       rem - By Windows Setup - MSCDEX.EXE /D:0EMCD001 /L:D

Windows 98のセットアップを実行すると、自動的にリアルモードドライバーをチェックし、DOS用のCD-ROMドライバーを削除する指定を指示します。WindowsのNOTEPAD.EXEやDOSのEDIT.COMを利用し、remをつけることで、DOSのリアルモードドライバーを簡単に手動無効化することもできます。

## Windows 98用サポートCD

Notebook PC付属のサポートCDには、すべての必要なドライバーやユーティリティが格納されています。次ページから、典型的なシステム構成を前提としたインストール手順を紹介します。アプリケーションの用法については、各アプリケーションのインストール後にオンラインヘルプを参照してください。サポートCDをドライブにセットすると次のような画面が表示されます。自動実行でメニューが表示されない場合には、CD-ROMドライブアイコン(ハードディスクに2つの領域を設定しているときはEドライブ)をダブルクリックするか、サポートCDのルートディレクトリにあるSETUP.EXEを実行してください。





# YAMAHAオーディオ

Notebook PCに組み込まれたオーディオ機能を最適利用するために、正しいオーディオドライバーをインストールしてください。Windows 98には、あらゆるメーカーの全機器に対する最適ドライバーが含まれているわけではありません。そのため、サポートCD内のドライバーで内蔵オーディオをフル活用できるようにするのです。Notebook PC購入時に、すでにオーディオのドライバーがプリインストールされている場合には、インストールは不要です。

## インストール手順

1. サポートCDをドライブにセットします。  
(自動実行画面を終了してください)
2. マイコンピュータアイコンを右クリックし、プロパティを選択してください。
3. デバイスマネージャタブをクリックしてください。
4. サウンド、ビデオ、ゲームコントローラー、ゲームポート、ジョイスティックを選んでください。(部品のリストを表示するには、グループ名横の+マークをクリックするか、グループ名をダブルクリックしてください。)
5. 「削除」をクリックし、OKをクリックしてください。
6. YAMAHA OPL3-SAx WDM Driverをダブルクリックし、プロパティをクリックしてください。



## YAMAHAオーディオ(続き)

7. ドライバータブを選び、ドライバーの更新をクリックしてください。

8. 最新ドライバーを検索するため、次へをクリックしてください。

9. 再び次へをクリックすると、Windowsはドライバーを検索します。

10. 場所の指定を選択し、E:\¥AUDIO¥WIN98とCDのパスを指定します。

11. 終了をクリックし、閉じるを2度クリックして作業を終了します。



# YAMAHAソフトウェア(オプション)

CD、MIDI、WAVE、MIXプレーヤーなどから構成されたYAMAHA YSTATION32ソフトウェアが、サポートCDに収録されています。次の言語をサポートしています：英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、デンマーク語、オランダ語、フィンランド語、ノルウェー語、スウェーデン語、繁体中国語、簡体中国語、日本語、ブラジル語、ポルトガル語

## インストール手順

1. サポートCDをドライブにセットします。
2. 自動実行メニューでBrowseをクリックします。
3. Audio・Appliフォルダーをダブルクリックしてください。
4. AppliフォルダーのSETUP.EXEをダブルクリックしてください。
5. Welcome画面で、次へをクリックしてください。
6. Setup Options画面でTypicalをクリックしてください。
7. Choose Destination Location画面では、Next(または、Browseボタンでディレクトリを指定)をクリックしてください。
8. Yesをクリックし、新しいディレクトリーをつくるか、既存のディレクトリーを置き換えてください。
9. Nextをクリックし、AUTOEXE.BATを変更します。オリジナルのファイルは、他の名前で作保存されます。
10. Information画面ではOKをクリックしてください。



## YAMAHAソフトウェア(続き)

11. Nextをクリックし、DOSSTART.BATを変更します。オリジナルのファイルは、他の名前で保存されます。

12. Information画面ではOKをクリックしてください。

13. ファイルがコピーされるのでお待ちください。

14. コピーが終了したら、次へをクリックし、プログラムフォルダーを作成してください。

15. OKをクリックし、インストールプログラムを終了してください。

新しいプログラムフォルダーのYSTATION32を実行してください。次回からは、「スタート」-「プログラム」-「アクセサリ」-「Yamaha」-「YSTATION32」で実行することができます。



# VGAドライバー

Notebook PCに組み込まれたグラフィックス機能を活用するために、最適なドライバーをOSにインストールする必要があります。Windows 98には、あらゆるメーカーの全機器に対する最適ドライバーが含まれているわけではありません。そのため、サポートCD内のドライバーで内蔵グラフィックスをフル活用できるようにするのです。

## インストール手順

1. サポートCDをドライブにセットします。(自動実行画面を終了してください)
2. デスクトップ上で右クリックし、プロパティを選択します。設定タブの詳細設定ボタンをクリックします。
3. アダプタータブをクリックし、変更をクリックします。
4. 最新ドライバーを検索するため、次へをクリックしてください。



## VGAドライバー(続き)

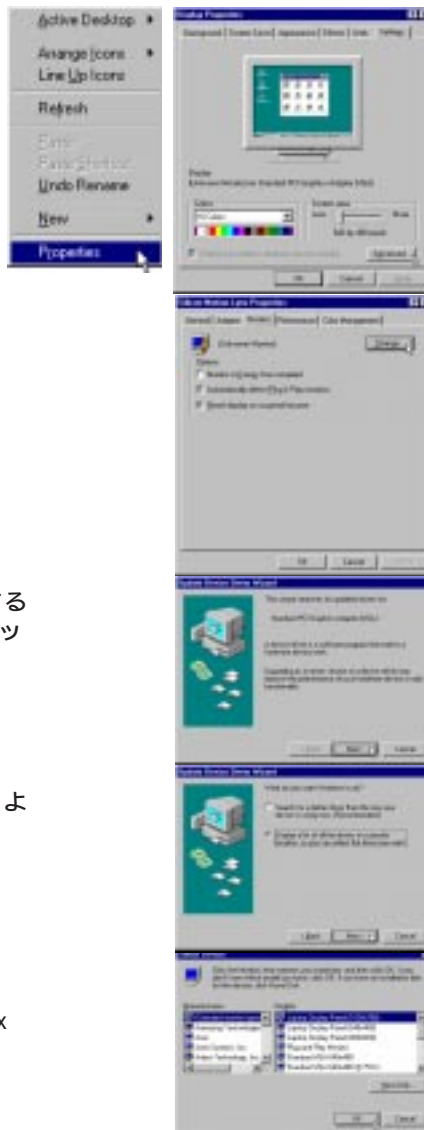
- 最新ドライバーを検索するため、次へをクリックしてください。
- 場所の指定を選択し、E:¥VGA¥WIN98とCDのパスを指定します。
- 次へをクリックすると、Windowsはドライバーを検索します。
- 再びドライバーの場所を求められます。
- 場所の指定を選択し、E:¥VGA¥WIN98とCDのパスを指定します。
- 終了をクリックし、はいをクリックしてWindowsを再起動してしてください。



# ディスプレイの設定

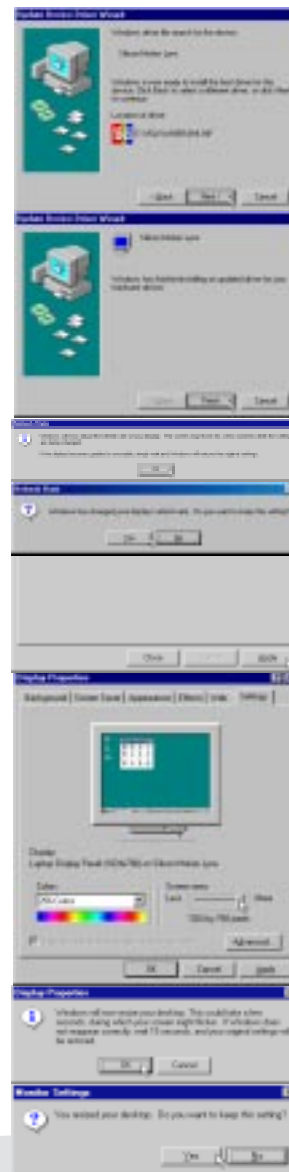
## 手順

1. サポートCDをドライブにセットします。(自動実行画面を終了してください)
2. デスクトップ上で右クリックし、プロパティを選択します。
3. 詳細、詳細設定をクリックし、モニタータブをクリックしてください。
4. 変更をクリックします。
5. アップデートされたドライバーを探索するウィザードが表示されたら、次へをクリックしてください。
6. すべてのドライバーのリストを表示するように選択し、次へをクリックします。
7. メーカーは(スタンダードモニター)を、モデルはラップトップ表示パネル(1024x768)を選択します。



## ディスプレイの設定(続き)

8. ドライバーファイルを検索する画面では、次へをクリックしてください。
9. Silicon Motion Lynx が検出されたら、終了をクリックしてください。
10. リフレッシュレートウィンドウが表示されたらOKをクリックし、設定を保存するために、はいをクリックしてください。
11. まだコンピューターを再起動しないでください。ディスプレイのプロパティを再度表示するため、適用をクリックしてください。
12. 画面領域調整バーで768x1024ピクセルを指定し、OKをクリックしてください。
13. 画面サイズを変更するためOKをクリックし、その設定を保つために、はいをクリックしてください。設定がすべて終了したら、コンピューターを再起動してください。



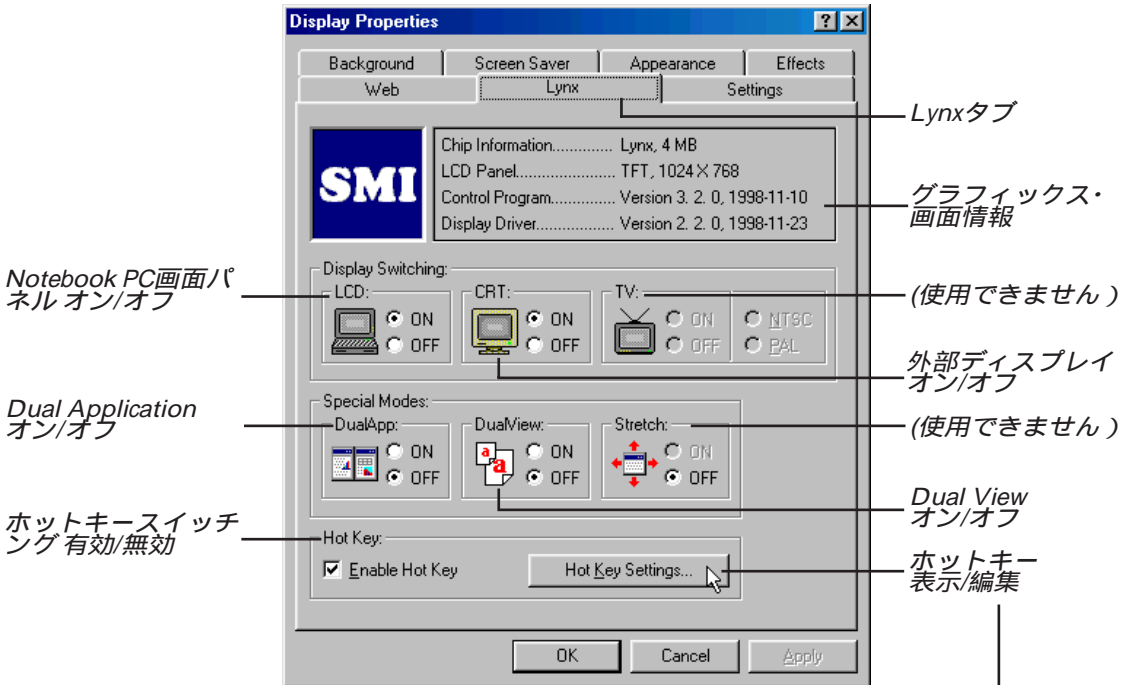




## コントロールパネル( 続き )

SMIアイコンをダブルクリックするか、デスクトップ上で右クリックし、プロパティを選択すると画面のプロパティが表示されます。画面のプロパティ画面は、Windowsの標準機能ですが、Lynx タブが加えられています。

### Lynxディスプレイプロパティ



**Dual Application (DualApp) :** Notebook PCの画面にあるアプリケーションを表示し、外部ディスプレイに他のアプリケーションを表示する機能です。

**Dual View :** Notebook PCの画面と外部ディスプレイに、同じ画面の異なる領域を表示できる機能です。

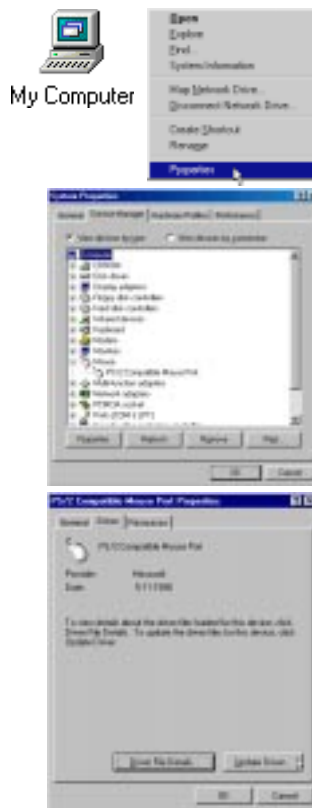


# タッチパッド

システムBIOSは、組み込み/外部接続キーボード・PS/2マウス機器を完全にサポートします。Notebook PCに搭載されたタッチパッドポインティングデバイスは、PS/2マウスと完全互換です。しかし、提供するデバイスドライバーを使用すると、タッチパッドに拡張機能を追加し、アプリケーションによってはより処理が便利になります。拡張機能の詳細は、本書のAlpsマウスユーティリティを参照してください。

## インストール手順

1. サポートCDをドライブにセットします。  
(自動実行画面を終了してください)
2. マイコンピュータアイコンを右クリックし、プロパティを選択してください。
3. デバイスマネージャタブをクリックしてください。
4. マウスの下にある現在の部品をダブルクリックしてください。(部品のリストを表示するには、グループ名横の+マークをクリックするか、グループ名をダブルクリックしてください。)
5. ドライバータブをクリックし、ドライバーの更新をクリックしてください。



## タッチパッド( 続き )

- 最新のドライバーを検索するため、次へをクリックしてください。
- 再び次へをクリックすると、Windowsはドライバーを検索します。
- 必要に応じて場所を指定してください。  
CDドライブのE:¥TOUCHPAD¥WIN98と入力します。
- 機器のためのWindowsドライバーファイルを検索する画面では、次へをクリックしてください。
- 終了をクリックし、閉じるを2度クリックして作業を完了します。

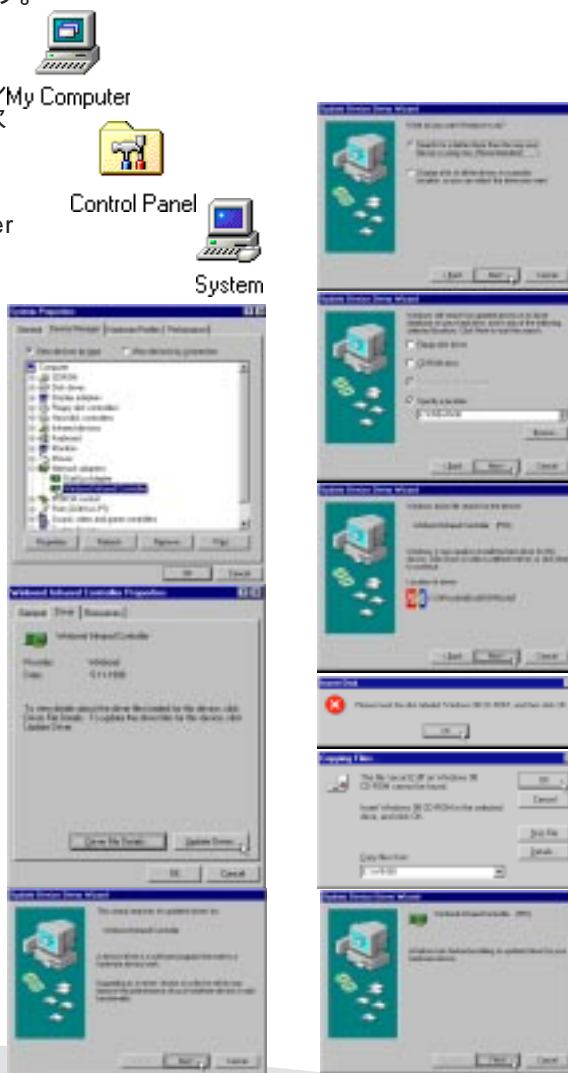


# Fast IRドライバー

fast IRドライバーを使用すると、Notebook PCと他のノートPC、PDA、セルラー電話、プリンタ、モデム、赤外線イーサネットのようなIR互換機器を搭載した赤外線ポートを利用し、無線通信することができます。

## インストール手順

1. マイコンピュータ、コントロールパネル、システムアイコンと順次ダブルクリックしてください。
2. ネットワークアダプターを選択し、Winbond Infrared Controllerをダブルクリックします。(部品のリストを表示するには、グループ名横の+マークをクリックするか、グループ名をダブルクリックしてください。)
3. ドライバータブを選び、ドライバーの更新をクリックしてください。
4. 次へをクリックし、すべてのドライバーを表示する設定で、ドライバーの場所を選択できるように指定してください。
5. 参照をクリックし、ドライバー・ユーティリティサポートCDのE:\FIR\WIN98を指定してください。
6. 次へをクリックし、Windows 98CDをドライブにセットし、OKをクリックしてください。
7. Windows 98のファイルのパスを必要に応じて指定して下さい。
8. 終了をクリックし、インストールを完了します。
9. はいをクリックし、コンピューターを再起動します。



## Fast IRドライバー(続き)

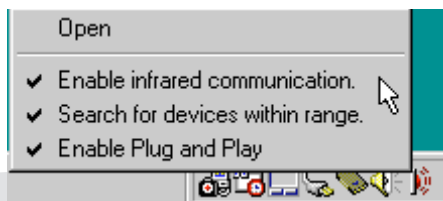
コンピューターが再起動したら：

10. デスクトップのネットワークアイコンを右クリックします。
11. Winbond Infrared Controller (PIOをダブルクリックし、詳細設定を選択します。



12. Infrared Transceiver「Value」をIBMに変更し、OKを2回クリックしてください。
13. はいをクリックし、コンピューターを再起動してください。

赤外線ポートを利用して無線通信を行うには、タスクバーの赤外線アイコンを右クリックし、赤外線ポートを利用できるように、各オプションにチェックをつけます。



# PC-cillin

ソフトウェアが、私たちの日常生活の一部になるにしたいが、それらを保護する措置を執らなくてはなりません。本Notebook PCには、非常に重要なウイルス対策ソフトウェアがサポートCDに収録されています。次の手順にしたがい、このソフトウェアをインストールしてください。使用法はインストール後のオンラインヘルプを参照してください。すでにお使いのウイルス対策ソフトウェアがある場合には、本ソフトウェアのインストールは不要です。

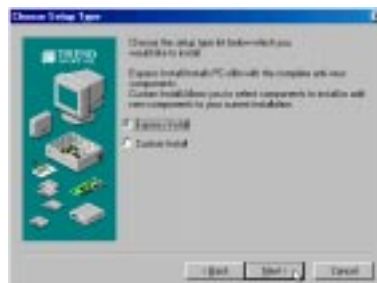
## インストール手順

1. 自動実行メニューでPC-cillinをクリックしてください。
2. Welcome画面では、次へをクリックしてください。
3. セットアップがシステムを調べる間、待ってください。
4. Registration画面では、あなたの名前と会社名(オプション)を入力し、次へをクリックしてください。
5. インストール先を指定する画面では、そのまま次へをクリックするか、場所を指定してから次へをクリックしてください。



## PC-cillin( 次へ )

6. Choose Setup Type画面では、Express Installを選択し、次へをクリックしてください。
7. Bootable Emergency Clean Disk ( 緊急時用起動ディスク )をつくるため、Startをクリックしてください。必要なければ、Create Emergency Clean Disk画面でSkipをクリックしてください。
8. Setup Complete画面では、Finishをクリックし、インストールプログラムを終了してください。



## その他のサポートCD項目

**Read Me:** サポートCDやNotebook PCに関する注釈ファイルです。

**Browse this CD:** サポートCDの内容を表示します。

**Technical Support Form:** テクニカルサポートを受けるために必要な書類の様式です。

**Exit:** 自動実行メニューを終了します。



# NOTEBOOK PC

## ALPSマウスユーティリティ

### 本項目の概要

Alpsマウスユーティリティは、自動実行メニューから「TouchPad(タッチパッド)」をクリックしてインストールします。Alpsは、Windowsシステム用のNotebook PCで使用されるポインティングデバイスドライバー・ユーティリティです。Alpsマウスユーティリティは、外部接続PS/2ポインティングデバイスと同様に内蔵タッチパッドでも使用することができます。

ユーザーマニュアル

## 目次

本項目の概要 .....	25
設定の変更 .....	28
Mouse Properties( マウスのプロパティ ) .....	28
Buttons( ボタン ) .....	28
ボタンに割り当てられた機能 .....	29
Double Click Speed( ダブルクリックスピード ) .....	29
Use Wheel Function( ホイール機能の使用 ) .....	29
Options( オプション ) .....	29
Options( 続き ) .....	30
Scroll Speed( スクロールスピード ) .....	30
Scroll Area( スクロールエリア ) .....	30
Tray Icon( トレーアイコン ) .....	30
Mouse Compatibility Mode( マウス互換モード ) .....	30
Motion( 動作 ) .....	31
Acceleration( 加速機能 ) .....	31
Speed( 速度 ) .....	31
Pointer Trail( ポインタ軌跡 ) .....	32
Orientation( 方向 ) .....	32
Orientation Settings( 方向設定 ) .....	32
Auto Jumps( オートジャンプ ) .....	33
Tapping( タッピング ) .....	34
Tapping( タッピング ) .....	35
Tapping Speed( タッピング速度 ) .....	35
Drag Lock Settings( ドラッグロック設定 ) .....	35
Typing( タイピング ) .....	35
Gesture( ジェスチャー ) .....	36
Corner Tap Functions( コーナータップ機能 ) .....	36
Use Scroll Function( スクロール機能の使用 ) .....	36

## 目次( 続き )

Option( オプション ) .....	36
Sound Feedback( 音による操作表示 ) .....	37
Easy Launcher( 簡単ランチャー ) .....	38
Application button(アプリケーションボタン) .....	38
Easy Launcherのプロパティ .....	39
Shortcut List( ショートカットリスト ) .....	39
New( 新規 ) .....	39
Delete( 削除 ) .....	39
Change( 変更 ) .....	39
Up/Down( 上/下 ) .....	40
Option( オプション ) .....	40
General controls( 一般のコントロール ) .....	43
OK .....	43
Cancel( キャンセル ) .....	43
Apply( 適用 ) .....	43
Default( 初期設定 ) .....	43
Version Information( バージョン情報 ) .....	43
よくある質問とその回答( FAQ ) .....	44

## 設定の変更

### Mouse Properties(マウスのプロパティ)

Mouse Properties(マウスのプロパティ)で、ポインティングデバイスの設定を簡単実行することができます。Windowsオリジナルのマウスのプロパティ画面(コントロールパネルにある)は、タッチパッドドライバーがインストールされると追加されるか置き換えられます。

**注：**Pointersシートは、Windows標準のマウスのプロパティと同じものです。使用しない機能に対応するタブは、表示されないことがあります。

### Buttons(ボタン)

ボタン設定を調整するための機能です。



プリセット機能は、各ボタンに割り当てることができます。機器の絵は検出された機器により異なります。Notebook PCタッチパッドや2ボタンマウスの「Both Buttons」、3ボタンマウスにある中央のボタンの「Central Button」とホイール付きマウス用の「Wheel Button」の絵があります。

**注：**マウスユーティリティによりホイール付きマウスを検出するには、BIOSセットアップユーティリティのAdvanced MenuにあるInternal Pointing Deviceを「Disabled」に設定してください。「Enabled」設定の場合には、Notebook PCは、すべての外部接続ポインティングデバイスを標準の2ボタン/3ボタンマウスと認識します。

## 設定の変更(続き)

### ボタンに割り当てられた機能

マウスボタンに割り当てることができる機能は次の通りです。

- ・ Click(クリック) ・ Easy Launcher(簡単ランチャー) ・ Auto Scroll(自動スクロール)
- ・ Double Click(ダブルクリック) ・ Shortcut Menu(ショートカットメニュー) ・ None(なし)

### Double Click Speed(ダブルクリックスピード)

Double Click Speedでは、クリック間の間隔をWindowsシステムに登録することができます。テストウィンドウで設定を確認することができます。ダブルクリックを登録すると、操作性が一段と向上します。

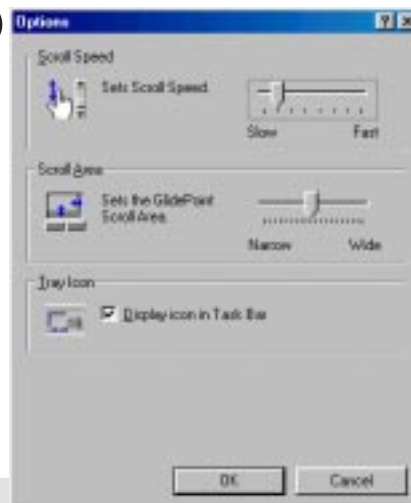
### Use Wheel Function(ホイール機能の使用)

ホイール機能を使用する場合には、ここをチェックしてください。Notebook PCでタッチパッドの代わりにホイールボタンを使用する際に、このチェックボックスが表示されます。

**注：** Mouse Utilityでホイールマウスを使用するには、BIOSセットアップユーティリティのAdvanced MenuにあるInternal Pointing Deviceを、「Disabled」に設定してください。「Enabled」に設定すると、Notebook PCは、すべての外部ポインティングデバイスを標準の2ボタン/3ボタンマウスと認識します。

## Options(オプション)

このシートで、スクロール関連の設定などを変更することができます。



## Options(続き)

### Scroll Speed(スクロールスピード)

スクロール機能を搭載したポインティングデバイスのスクロールスピードを変更することができます。

**注：** Mouse Utilityでホイールマウスを使用するには、BIOS Setup UtilityのAdvanced MenuにあるInternal Pointing Deviceを、「Disabled」に設定してください。「Enabled」に設定すると、Notebook PCは、すべての外部ポインティングデバイスを標準の2ボタン/3ボタンマウスと認識します。

### Scroll Area(スクロールエリア)

スクロール領域幅をタッチパッドのために変更します。

**注：** Mouse Utilityでホイールマウスを使用するには、BIOS Setup UtilityのAdvanced MenuにあるInternal Pointing Deviceを、「Disabled」に設定してください。「Enabled」に設定すると、Notebook PCは、すべての外部ポインティングデバイスを標準の2ボタン/3ボタンマウスと認識します。

### Tray Icon(トレイアイコン)

タスクバーにトレイアイコンを表示したい場合にチェックします。スクロール領域に触れると、トレイアイコンの色が変わります。アイコンを右クリックすれば、メニューが表示されます。アイコンをダブルクリックすると、マウスのプロパティが表示されます。



### Mouse Compatibility Mode(マウス互換モード)

外部のマウスが機能しないとき、この機能を使ってください。このモードをEnabledにすると、タッチパッドの拡張機能は使用できません。

**注：** この機能は、旧形式のマウスを使う場合に表示されます。

## Motion( 動作 )

マウスポインターの動作を調整するために使用します。



### Acceleration( 加速機能 )

加速機能は、マウスが速く動いたときにカーソルがより多くの領域を利用できるようにするものです。チェックボックスで、加速の有効/無効を設定します。加速機能を有効にした場合には、トラックバーを使い低・中・高から速度を設定することができます。

### Speed( 速度 )

マウスカーソルの画面上の速さを指定します。低感度設定ではより正確にカーソルをおくことができます。高感度設定では、ポインティングデバイスを少し操作しただけでも、大きな範囲の指定などができます。チェックボックスで、水平/垂直感度トラックバーのロック/アンロックを指定することができます。トラックバーで、Horizontal( 水平 )/Vertical( 垂直 )方向の感度を指定することができます。

## Motion( 続き )

### Pointer Trail( ポインタ軌跡 )

この機能で、スクリーン上のカーソル位置を容易に知ることができます。マウスが動かされると、マウスカーソルの後に、ゴーストカーソルが残ります。これは、画面上でマウスカーソルの動きを知る軌跡となります。チェックボックスで軌跡の有効/無効を設定し、トラックバーでゴーストカーソルの数を指定します。

## Orientation( 方向 )

マウスポインターの移動方向を調整するために使用します。



### Orientation Settings( 方向設定 )

この機能は、ポインティングデバイスを角度をもって持っている場合に効率的です( 斜めに動かしても、画面上は垂直移動に設定できるのです )。Move the dolphin to the surface to set the orientationメッセージが表示されたら、Set Rotationボタンをクリックしてください。画面上で垂直と設定したい、ユーザーが実際に動かす方向に、ポインティングデバイスを動かしてください。この新しい上方向に基づき、画面上のカーソルは移動します。



## Orientation( 続き )

### Auto Jumps( オートジャンプ )

指定した点に、自動的にカーソルをジャンプさせる機能です。



Auto Jumpsでは、ウィンドウが開かれるごとに、指定した点にカーソルがジャンプします。現在、3つ位置をこの機能で指定することができます。

1. Default Button
2. Control Menu Box( ウィンドウの右上 )
3. Center of the Window( ウィンドウの中心 )

## Orientation( 続き )

設定した対象が存在しない場合には、カーソルは現在位置に止まります。しかし、ユーザーは複数の位置を指定し、優先順位を設定することができます。例えば、Default Buttonとシステムメニューボックスを指定した場合で、Default Buttonがないウィンドウを開くと、カーソルは、もしあるならシステムメニューボックスに移動します。そうでない場合には、カーソルは現在位置に止まります。チェックボックス右側のダイアログビットマップが、現在のオートジャンプの位置と優先権についての、最高、最低を示しています。

**注：**この機能は、カーソルを特定の位置へ移動させるのみでクリックイベントを発生しません。この機能が使用できないアプリケーションもあります。

## Tapping( タッピング )

タップ設定を調整するために使用します。



**注：**Tappingタブは、タッピングセットアップ機能を持ったタッチパッドを使用している場合に表示されます。Tappingプロパティシートが表示されないときは、使用しているポインティングデバイスはこの機能をサポートしていないので使用できません。

## Tapping( 続き )

### Tapping( タッピング )

Tappingが有効のとき、ポインティングデバイスの表面を単に押すことで、マウスクリックをシミュレートすることができます。Tapping機能を使用するかどうかを指定します。Tapping機能が使用されているときは、Tappingチェックボックスがオンになります。Tapping機能が使用されていないとき、Tappingチェックボックスはオフです。**注**：この機能が無効のとき、Drag Lock Setting、Tapping Speed Typingも無効です。

### Tapping Speed( タッピング速度 )

Tapping Speedトラックバーを左へ動かすと、シミュレートされたマウスクリックは遅くなります。Tapping Speedトラックバーを右へ動かすと、シミュレートされたマウスクリックは速くなります。テストボックスをタッピングすれば、スピードをテストすることができます。タッピングが設定より速いとボックス中のアニメーションが動き始めます。設定より遅い場合には、アニメーションは変化しません。

## Drag Lock Settings( ドラッグロック設定 )

### Drag Lock

タッピングによるドラッグの後、指が離れてもドラッグ状態を維持する機能です。ドラッグロック機能が使用されると、Drag Lockチェックボックスがオンになります。**注**：Drag Lockチェックボックスが使用禁止の場合には、Auto Releaseは設定できません。

### Auto Release( 自動解放 )

Drag Lockが、ユーザーが指をタッチパッドの表面からあげてから指定時間経過後カーソルを解放する機能です。解放までの時間は、Auto Releaseラジオボタンの右にあるAuto Release Delayトラックバーで指定することができます。

### Tap Release( タップ解放 )

Tap Releaseが選択されていると、Drag Lockはマウスの左ボタンやタッピングで解放されます。

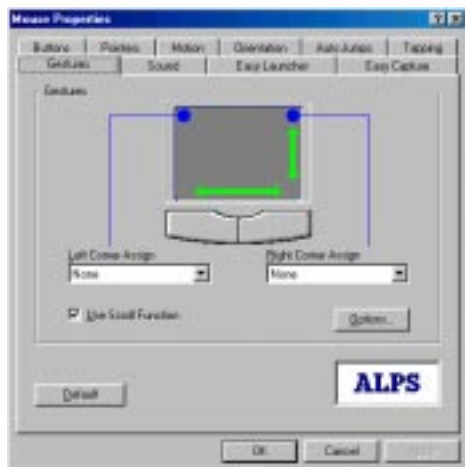
## Typing( タイピング )

### Tap off when typing( タイピング中のタップ無効 )

このオプションを選択すると、キーボードをタイプ中はタップできません。この機能は、ワードプロセッサで文書作成中、不注意にタップする事故を防ぐために有効です。タイピングが中断されているとき、タッピングはできません。この中断時間は、「Delay after last key is hit」トラックバーで指定することができます。

# Gesture(ジェスチャー)

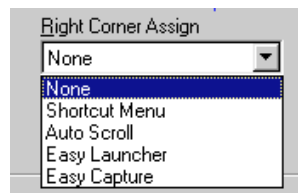
Gesture設定を調整するために使用します。



## Corner Tap Functions(角タップ機能)

### Left Corner Assign/Right Corner Assign

タッチパッドの角をタップした場合の機能を割り当てることができます。Left Corner Assign(左角割り当て)、Right Corner Assign(右角割り当て)ドロップダウンリストボックスをクリックすると、割り当てることができる機能のメニューが表示されます。



### Use Scroll Function

スクロール機能を使いたい場合に、ここをチェックしてください。この機能が有効なら、スクロールバーの上へカーソルを移動させる必要なく、タッチパッドの端で指を移動させることでスクロールさせることができます。また、タッチパッド上で指をスライドさせる際、同時にCtrlキーやShiftキーを押すことで、Zoom、Data Zoomを使用することができます。

## Option(オプション)

Optionsダイアログボックスを開きます。このダイアログでは、スクロールパラメーター、トレイアイコン状態とマウス互換モードを変更することができます。また、Gestureタブからこのダイアログボックスを表示することもできます。

## Sound Feedback(音による操作表示)

Sound Feedbackは、ポインティングデバイス操作をユーザーが簡単に識別できる音で表示することで、マウスの操作性を拡張します。サウンドファイル(WAVフォーマット)を様々なポインティングデバイス操作に割り当てることができます。Sound Feedbackを行うと、ユーザーはポインティングデバイスの操作や機能を簡単に認識することができます。SoundプロパティシートでSound Feedback設定をカスタマイズすることができます。



### Events

サウンドが割り当てられる操作を表示します。サウンドが設定されたことを示すためにスピーカーが表示されます。

### Name

操作に設定されたサウンドを表示します。割り当てられたサウンドのリストを表示するには、Nameセル上で下印をクリックしてください。

### Browse

任意フォルダーのサウンドファイルを参照することができます。サウンド名セルに表示されていない、他のフォルダーにあるサウンドファイルを参照できます。

### Preview: Play

Nameセルに表示されたサウンドを再生します。

### Preview: Stop

サウンド再生を中止します。

## Easy Launcher( 簡単ランチャー )

Easy Launcherは、Windowsのシステムを簡単に操作できるユーティリティプログラムです。ポップアップウィンドウに表示されるアイコンをクリックして、任意のアプリケーションを実行することができます。Easy Launcherを起動するには、Easy Launcherを左/右角に割り当て、その角をタップします。

Easy Launcherが起動すると次のような画面が表示されます。



Easy Launcherをインストールすると、4つの初期設定アイコンボタン、アイコン化ボタン・クローズボタン・起動ボタン・Easy Launcherクローズボタンが表示されます。

### アイコン化ボタン

このボタンをクリックすると、アクティブウィンドウが最小化されます。

### クローズボタン

このボタンをクリックすると、アクティブウィンドウが閉じられます。

### 起動ボタン

このボタンをクリックすると、Windowsスタートメニューが表示されます。

### Easy Launcherクローズボタン

このボタンをクリックすると、Easy Launcherが閉じられます。

**注：**Easy Launcherはクローズボタンをクリックするだけでなく、ESCキーを押してもクローズします。

## Application button(s)( アプリケーションボタン )

ショートカットキーをEasy Launcherに加えると、アプリケーションボタンが表示されます。アプリケーションボタンをクリックすると、関連づけられたアプリケーションが起動します。起動するアプリケーションの追加や削除は、Alps Pointing Device Driverプロパティシートで行います。

この機能を使用するために、Easy Launcherプロパティを設定してください。

## Easy Launcher( 続き )

### Easy Launcherのプロパティ

Easy Launcherの様々な設定を調整します。



### Shortcut List( ショートカットリスト )

Easy Launcherに登録されたアプリケーションを表示します。デスクトップやエクスプローラからのドラッグアンドドロップでアプリケーションアイコンを追加することができます。

### New( 新規 )

アプリケーションプログラムをEasy Launcherに加えます。

### Delete( 削除 )

アプリケーションプログラムをEasy Launcherから削除します。

### Change( 変更 )

Easy LauncherダイアログボックスのChange Shortcutが表示されると、アプリケーションを変更することができます。

## Easy Launcher( 続き )



### Up/Down

Easy Launcherに表示されるアプリケーションボタンの割付を変更します。

### Option

オプションダイアログボックスが表示され、Easy Launcherをカスタマイズできます。

### Windows style

Easy Launcherウィンドウの形を、Standard( 標準 )・ Vertical( 垂直 )・ Horizontal( 水平 )から選択します。

### Windows location

Easy Launcherのウィンドウ位置を、画面中心・ Pointer( ポインター )位置・ Previous( 直前の )位置から選択します。

### Icon-button size

Easy Launcherのアイコンサイズを、Standard buttons( 標準 )・ Small buttons( 小 )・ Large buttons( 大 )から選択します。

### Enable Auto close

このチェックボックスがオンのとき、Easy Launcherウィンドウは指定された時間経過後自動的に閉じます。

### Show Title Bar

タイトルバーの表示/非表示を切り換えます。

### Use Tool Hint

ツールヒントの表示/非表示を切り換えます。



## Only Application Shortcut

このボックスがオンの場合には、スタートメニューボタン、クローズボタン、アイコン化ボタンが隠れます。

## Enable Auto Grid

このボックスがオンの場合には、Easy Launcherが開く際、各アイコンのマウスが移動します。

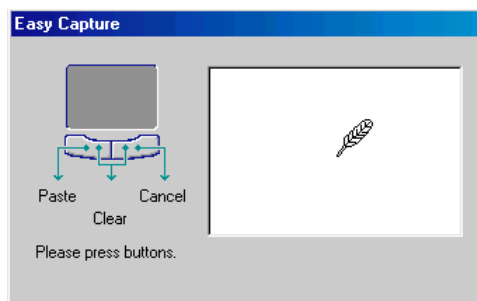
## Use Close Easy Launcher button

このチェックボックスがオフのとき、Close Easy Launcherボタンは表示されません。

## Easy Capture

Easy Captureは、ペイントなどのプログラムを使用しなくても、図などを描き、アクティブアプリケーションに貼り付けることのできるユーティリティです。

Easy Captureを起動するには、Easy Launcher to Left or Right Corner Assignmentを設定し、角をタップしてください。3ボタンモードが設定されている場合には、そのうちのひとつのボタンで起動することができます。Easy Captureを起動すると、Easy Captureウィンドウが表示されます。このウィンドウで、図などを描き、アプリケーションに貼り付けることができます。



**注：** Easy captureは、イメージデータのみをサポートしています。

## アプリケーションにEasy Captureウィンドウの図を貼り付けるには

タッチパッドの左ボタンをクリックしてください。

## Easy Captureウィンドウ上の図を消去するには

タッチパッドの右ボタンと左ボタンを同時にクリックしてください。

## Easy Captureウィンドウをキャンセルするには

タッチパッドの右ボタンをクリックするか、キーボードのESCキーをクリックしてください。

Easy Captureプロパティシートで、ペンの色やサイズ、キャンバスのサイズを変更することができます。



### Canvas size

Easy Captureで使用するキャンバスのサイズを指定します。Large(大)、Medium(中)、Small(小)を選択できます。

### Width (Pen Style)

リストからペンのライン幅を選択します。

### Color (Pen Style)

リストからペンのライン色を選択します。

### Option

Easy CaptureのOptionダイアログボックスを表示します。このオプションダイアログボックスでは、Application Paste Key( 図を貼るキー )やPreserve Previous Picture( 直前の図を保存 )を設定します。Easy Captureがアプリケーションに図を貼ることができないときは、Application Paste Keyを変更してください。



## General controls( 一般のコントロール )

### OK

OKをクリックすると、ユーザーの設定変更を保存しMouse Propertiesを閉じます。

### Cancel( キャンセル )

Cancelをクリックすると、ユーザーの設定変更を保存せずMouse Propertiesを閉じます。

### Apply( 適用 )

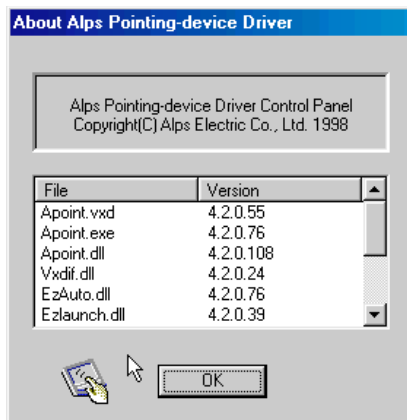
Applyをクリックすると、Mouse Propertiesを閉じることなくユーザーの設定変更を適用します。

### Default( 初期設定 )

Defaultをクリックすると、初期設定値を設定します。

### Version Information( バージョン情報 )

Alps Pointing Device Driverファイルのバージョンを表示します。「About Alps Pointing-device Driver」ダイアログボックスを表示するには、Mouse Propertiesシートの「ALPS」ロゴをクリックします。



## よくある質問とその回答(FAQ)

Alps Pointing Device DriverについてのFAQです。

**Q1.** Windows標準のマウスドライバーを、Alps Pointing Device Driverの代わりに使用する方法は？

**A1.** Windowsヘルプファイルで、ハードウェアのデバイスドライバーを追加したり変更したりする方法を参照してください。

**Q2.** タッピングを使うにはどうすればよいですか？

**A2.** Tappingのプロパティを開き、Tappingボックスをチェックします。

**Q3.** Alps Pointing Device Driver Propertiesを参照することができません。

**A3.** Notebook PCを再起動してください。外部PS/2マウスを接続している場合には、取り外してください。

**Q4.** Easy LauncherやEasy Captureが表示できません。

**A4.** 外部マウスを接続している場合には、取り外してください。Easy LauncherやEasy CaptureがGestureプロパティシートでcorner tapに設定されているかどうか確認してください。